



NPハイパーI・II

施工要領書

【改定】2020年12月

※本要領書の内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

Best Walls, Best Life

しっくいと共に

日本プラスター株式会社

<用途，適用下地>

用 途：外壁タイル下地用モルタル，コンクリート厚付け補修(内外壁・内外床・天端)

適用下地：コンクリート，ALC，モルタル，ブロック，PC

<使用機具，保護具>

使用機具：サンダ，高圧洗浄機，モルタルミキサー，吹き付け機，コテ

保 護 具：保護手袋，保護帽，安全帯，安全靴，保護眼鏡，防塵マスク

<作業手順>

1. 下地処理

下地のレイタンス，脆弱層，離型剤，油分，汚れ等を入念に除去し，水洗い清掃等を行うなどの処理をして，健全な下地状態としてください。外壁タイル仕上げの場合には高圧洗浄又はサンダ掛けを行ってください。なお，高強度コンクリートにつきましては，必ず高圧洗浄してください。

2. シーラー塗布

下地処理後、吸水調整材として NP シーラックの 3～5 倍希釈液を 120～150g/m² 塗布してください。なお，塗布後，最低 1 時間は養生を行ってください。

下地	施工時期	シーラック希釈率	塗布回数
コンクリート	通常(※1 以外)	5 倍(シーラック 1 : 4 清水)	1 回
モルタル・PC	真夏の晴天日(※1)	3 倍(シーラック 1 : 2 清水)	1 回
ALC・ブロック	施工時期不問	5 倍(シーラック 1 : 4 清水)	2 回(2 日で 2 回)

3. 練り混ぜ

NP ハイパー 1 袋に対して，清水を少量ずつ所定量(下記の表を参照)加え，モルタルミキサーにて十分に練り混ぜて，施工軟度に調整してください。

製品名	清水
NP ハイパー I	7～8 <small>リットル</small>
NP ハイパー II	7～8 <small>リットル</small>

4. 塗り付け

- コテ塗りの場合

- ① NP ハイパーをコテ圧を十分かけて、擦り付けるように下ごすりをしてください。(5mm 厚まで)
- ② 下ごすり後、所定の塗り厚まで金ゴテで塗り付けてください。
- ③ 塗り付け後、水引き具合を見て、金ゴテや木ゴテでコテ押しえをしてください。この際、コテで表面を揉みすぎると、余分なノロが浮き上がり、タイル張付けモルタル等の仕上げ材料との界面剥離の原因となります。

- 吹き付けの場合

- ① NP ハイパーを下吹き付け(3～5mm 厚)してください。
- ② 下吹き付け後、上吹き付けを所定の厚さまで行ってください。
- ③ 塗り付け後、水引き具合を見て、金ゴテや木ゴテでコテ押しえをしてください。

※所定の塗り厚以上を要する場合は、養生乾燥後塗り重ねてください。

製品名	1回の塗り厚
NP ハイパー I	3～5mm
NP ハイパー II	5～10mm

5. 養生

- 1) 通風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、屋内は開口部の閉鎖、屋外ではシート掛けなどの養生を行ってください。
- 2) 塗り付け後の養生期間は通常7日以上、冬期には14日以上としてください。
- 3) 乾燥が激しい場合は、施工翌日に散水養生を行ってください。

<施工上の注意>

- 1) 耐久性を重視して組成された製品ですので、現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けて下さい。
- 2) 塗り重ねる際、乾燥の激しい場合は、NP シーラック 5倍希釈液と塗布してください。
- 3) 定木摺りは、材料をもみすぎないように適度に行ってください。出来れば定木を当てるようなイメージをお願いします。

- 4) コテ押さえの際、表面を揉みすぎると、余分なノロが浮き上がり、タイル張付けモルタル等の仕上げ材料との界面剥離の原因となります。
- 5) 必ず NP シーラックの塗布を行ってください。他の接着増強剤をご使用の場合、耐久性が落ちることがあります。
- 6) 冬期、気温が 5℃以下になる場合は、施工を見合わせ、採暖を要します。
- 7) 施工時および施工後の硬化前に降雨、降雪の恐れがある場合は、施工を中止して下さい。
- 8) 混練材料は加水後 1 時間以内に使用し、練足しおよび水を加えての練戻しは避けて下さい。
- 9) 袋の表紙に製造年月日が記載されております。製造日から 6 ヶ月以上のものは使用しないでください。



日本プラスター株式会社

本社・工場 / 〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851

東京営業所 / 〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
TEL:03-3831-3239(代) FAX:03-3835-2048

西日本営業所 / 〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170
TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032